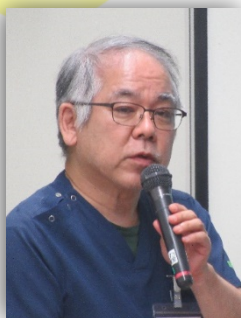


地域の往診・訪問診療医を知ろう！ 報告

京見の森クリニック

シリーズ第5回
朝日地域

開催日時:2024 年7月11日(木)15:00~16:00 会場:広畑市民センター



この研修会は、主に介護職と医師の顔の見える関係づくりができ、介護職が気兼ねなく、必要な時に、適切な連携(情報共有や相談)ができるようになることを目的として、シリーズで開催しています。今回は、姫路市勝原区(朝日地域)の京見の森クリニック 院長 なかむら まさひこ 中村雅彦 医師に、自院の特徴や在宅医療についてお話しいただき、多職種 43 名の方々にご参加いただきました。

・自己紹介【救急医 在宅医療へ行く】

元救急医。ER 患者の高齢化が進む中、背景に ADL が低下する基礎疾患があり、在宅医療の重要性を日々の救急医療現場で感じていたこともあり、2018 年に京見の森クリニック開設

・在宅医療とは？

病院や診療所に自力で通えない方の住まい(自宅や施設)に医師・看護師が赴いて診療すること

訪問診療: 予定して訪問し診療すること **往診**: 患者さんの急変の際に予定外で診療すること

・京見の森クリニック 在宅医療のスタイル

在宅医療専門クリニック

スタッフ: 医師(常勤 2 名)、看護師、非常勤専門職(放射線技師、管理栄養士)、事務職、運転手

・心掛けていること

医療で地域に貢献する; 素早く対応する;

患者・家族の思いを最優先し、患者にとって良いと思えることを行う; 医療レベルの維持;

ICT/DX により効率的な活動を行う; など

・訪問開始までの流れ

病院、CM、訪問看護師、患者家族などから依頼・情報提供 → クリニック/MSW 看護師が対応のうえ院長に承諾確認 → 詳細確認、システム説明、初回訪問日決定

・胃瘻、経鼻胃管について

メリット、留意すべき点など

…などなど、映像等も交えながらお話しくださいました

《アンケートより 一部抜粋》

- ・在宅医療についてより深く理解できた
- ・自宅での生活が不安な利用者様に、訪問診療や往診をしてもらい相談しながら生活ができることを伝え一緒に考えていきたい
- ・「残された時間を快適に過ごしていただき、本人・ご家族が望む場所で最期を迎えるためのお手伝いをする」、「薬を使うだけが緩和ケアではない」とご説明をいただき、いつも現場で共感している思いを改めて確認できた。看護師は生活面に直接かわり、患者・家族の思いに触れることも多いため、今後も共有させていただきたいと思った。